

県内総合

建設情報*Iwate*

造成設計を10日に入札

奥州市 袖山工業団地の整備

奥州市は江刺袖山地区に、新たな工業団地となる(仮称)袖山工業団地の整備を計画。同団地について、今年度は造成に向けた実施設計などを進める。設計の委託業者を選定する入札を10日に予定している。(関連7面)

新工業団地の整備位置は、江刺フロンティアパークの北隣。20年度には基本計画の作成を行った。基本計画段階での概要を見ると、整備計画区域面積が約24.6㌥、分譲可能計画面積が約17.8㌥で、区域内計画道路はループ型。想定

村の2施設をサテライトオフィスに

=野田村・プロボ公告=

野田村は4日付で、公募型プロポーザルで実施する野田村地方創生テレワーク推進事業業務を公告した。同業務では、地方創生に資するテレワークを推進するため、村所有の2施設を活用し、サテライトオフィスなどとして利用できるよう、通信・滞在環境を整備する。参加希望者は参加届出書類を21日午後5時までに、同村未来づくり推進課へ持参、郵送(同日消印有効)、メールの送信により提出すること。企画提案書などの提出期限は28日午後5時となっている。(関連6面)

同業務では、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、リモートによる仕事や交流が増加している状況を踏まえ、サテライトオフィス・シェアオフィス・コワーキングスペースなどの施設整備・運営により、地方創生に資するテレワークを推進する。

具体的には、村所有の2施設を活用し、サテライトオフィスなどとして利用できるよう、通信・滞在環境を整備する計画。村と他地域の大学、企業などとの交流促進を図りながら、関係人口の拡大や経済の活性化、定住人口の拡大を見据え、中長期にわたる地域に貢献する施設を整備する。

業務対象の2施設を見ると、▽アジア民族造形館エリアを構成する南部曲がり家の一つとなる庵形形井(いおりひかたい)＝同村大

区画設計画は大規模1区画、中規模11区画の計12区画となる。想定最大区画面積は約8.2㌥(分割可能)、想定最小区画面積が約0.4㌥となっている。区画については、企業ニーズにより、分割なども可能としている。

面積や区域内の土地利用計画は、今後の基本設計、実施設計等において変更する場合もあるとしている。

21年度は実施設計を実施するほか、用地交渉(補償含む)、各種法手続きなどを予定している。22年

字野田第6地割62番地、木造平屋建て257.78平方㍍▽国民宿舎えぼし荘＝同村大字玉川第2地割62番地28、鉄骨造3階建て3312.87平方㍍の一部となっている。

庵形形井では、サテライトオフィスなどに資する施設全体の環境整備や、居住・滞在機能などの付帯整備を実施。給排水設備や冷暖房設備、照明・電気設備などの工事のほか、建具工事、内装工事、外構工事などを計画している。

国民宿舎えぼし荘では、共同の

個別修繕計画の健全度判定区分Ⅲの橋梁 ③

県道路橋長寿命化修繕計画の個別修繕計画に掲載された健全度の判定区分Ⅲの橋梁は次の通り。道路橋名に続き①路線名②市町村③橋長④全幅員⑤橋種⑥建設年⑦法定点検年度⑧道路橋の健全性⑨次回法定点検年度⑩重要度グループ⑪修繕等の内容⑫修繕等の時期ーの順。

▽安庭橋①主・盛岡横手線②雫石町③334.5m④10.5m⑤鋼橋⑥1975年⑦2016年度⑧Ⅲ⑨2021年度⑩D⑪上部工補修、床版補修、支承補修、下部工補修、伸縮装置補修、地覆・高欄補修、舗装打換え、排水管補修⑫2020～2021年度

▽柞沢橋①国・106号②盛岡市③165.6m④8.8m⑤鋼橋⑥1973年⑦2016年度⑧Ⅲ⑨2021年度⑩D⑪上部工補修、床版補修、支承補修、下部工補修、伸縮装置補修、地覆・高欄補修、舗装打換え、排水管補修⑫2020～2021年度

▽狐禅寺橋①主・一関大東線②

度から造成工事に入るとともに、予約販売を開始する見込み。造成工事は23年度も継続して進め、24年度に分譲開始したいとしている。

市内の工業団地の現状は、分譲が進んでいる。9工業団地のうち、江刺中核工業団地が13年度に、本杉工業団地が17年度に完売するなどしている。

県内の半導体、自動車の大手企業の動向から、今後さらに北上川流域地域(岩手県南・宮城県北)への産業集積が期待される。優良企業の立地などによる県内への就業を促進する必要もあり、北上川流域地域で分譲可能団地が不足している状況にあることから、工業団地の必要性が高まっている。こうしたことから市では、新工業団地の整備を計画した。

事務スペースとして活用できるコワーキングスペースの整備などを予定している。業務の委託期間は22年3月18日まで。委託料の上限額は4143万2000円となっている。

同村は、7月上旬に企画提案の内容を審査する予定で、書類審査を行う。審査員は、商工観光関係者をはじめ、民泊などの交流人口の受け入れ関係者ら10人以内となる。同月上旬～中旬にプロポーザルの結果を通知し、同月中旬の契約締結を予定している。

一関市③128.6m④10.3m⑤鋼橋⑥1976年⑦2016年度⑧Ⅲ⑨2021年度⑩D⑪上部工補修、支承補修、下部工補修、伸縮装置補修、地覆・高欄補修、舗装打換え⑫2019～2020年度

▽千歳橋①主・一関大東線②一関市③434.0m④10.3m⑤鋼橋⑥1978年⑦2016年度⑧Ⅲ⑨2021年度⑩D⑪修繕工事中(上部工補修、支承補修)⑫2018～2020年度

▽中里橋堤外地側①主・一関北上線②一関市③167.0m④10.0m⑤P C橋⑥1993年⑦2016年度⑧Ⅲ⑨2021年度⑩D⑪上部工補修、下部工補修、伸縮装置補修、地覆補修、舗装打換え、排水管補修、耐震補強⑫2019～2025年度

(つづく)

けんせつ女子大募集!

「スマイル☆けんせつ女子部」に登場していただける方を募集しています。詳しくは編集部まで。

→ TEL 019-623-8201(代表)

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



活断層の調査ー応用地球物理学調査ー

岩手大学理工学部システム創成工学科教授・地域防災研究センター長 越谷 信

今回は、活断層調査法のうち、物理探査や応用地球物理学調査といわれる手法である反射法地震探査について説明する。この手法は、石油探査などの様々な資源探査に用いられており、近年では、防災、学術などの面からの利用も増大している。

地中を伝播する弾性波は、音響インピーダンス(=密度×弾性波速度)という物性の異なる物質の境界面で屈折・反射する。屈折波はさらに深部の境界面で屈折・反射する。反射法地震探査とは、人工震源または振動源を用いて地中に弾性波を送り込み、層理面のように音響インピーダンスの異なる地層の境界面や断層面のように異なる地質体が接する面で反射した弾性波を、地表に設置した多数の受振器(地震計)で観測し、これらの境界面を反射面として表すことで地下の構造形態を描き出し、また構成物質の物性を調べる探査法である。

今、簡単のために、水平な地層が2層ある場合を考える。受振器を地表に等間隔に設置し、受振点とほぼ同一地点で震源により弾性波を発生させると、図1に示すように、各受振点で地層境界面からの反

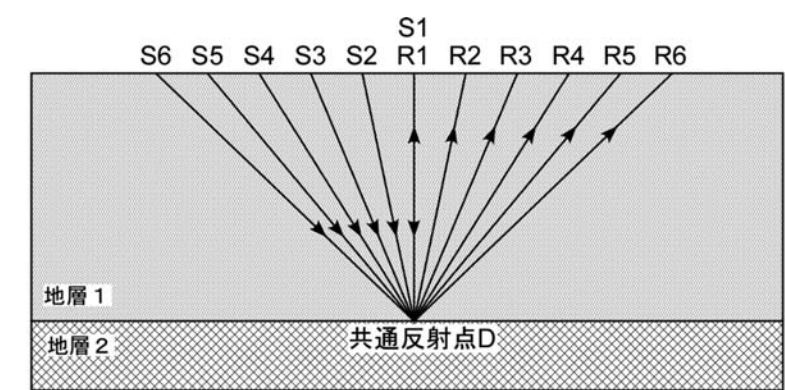
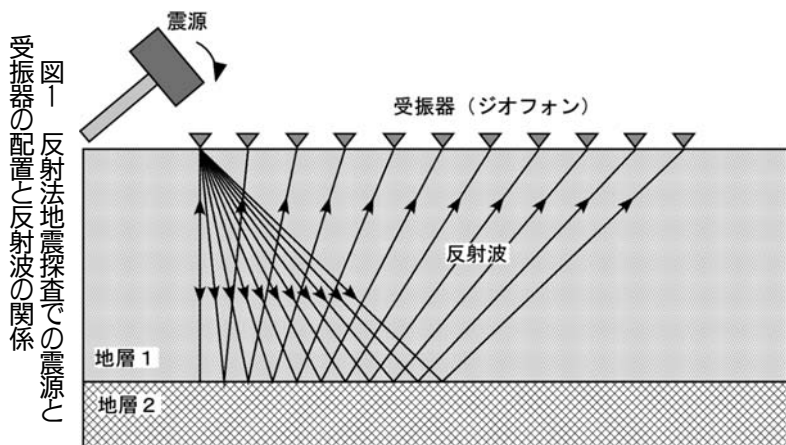


図2 発震点、受振点および共通反射点の関係

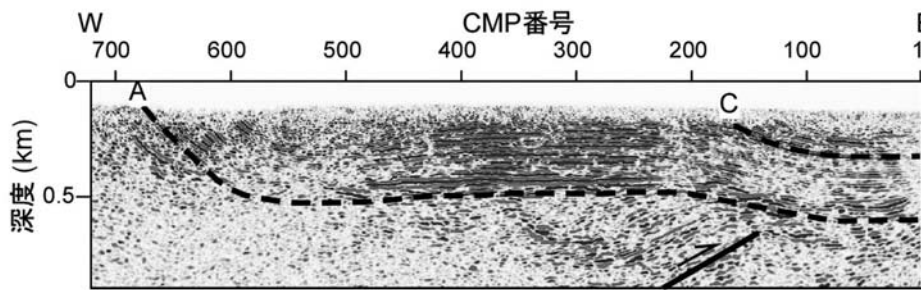


図3 岩手県花巻市西方横森山断層を横切る反射法地震探査による深度断面

射波が観察される。震源を移動し、図1の左端点から右方に向かって順次受振点とほぼ同一地点で発震する。このような操作を繰り返すと、地層境界面上にある同一点からの反射波を繰り返し観測することができる。図2でこの様子を説明すると、S1で発震した波はこの点で反射し、R1で記録され、S2～S6で発震した波はそれぞれR2～R6で記録される。それらの距離の違いを補正して重ね合わせるにより、地中から伝播してきた微弱な反射波を強調することができる。この操作を地下に設けた多数の共通反射点からの信号を観測し、強調された反射波の列として層の境界を認識する。この方法が反射法地震探査の中で中核的な原理になっている。実際には、傾斜層に対しても適当な補正を行うなどの解析を行い、最終的には縦軸の時間を深度に置き換えて通常の深度断面を得ることができる。

この方法は、陸上や海上でのデータの取得と計算機によるデータ処理からなる。データの取得には、震源、受振器およびデータ収録装置が必要になる。震源に用いられるのは、陸上では爆薬、インパクト

ー、パイプレータ、板たたきなどがあり、海上ではエアガンなどがある。受振器は、陸上では小型の地震計であるジオフォンを用いる。海上では、圧力素子に対する外部圧力による誘導電位を利用して弾性波を検出するハイドロフォンと、複数のハイドロフォンを合成樹脂チューブに格納したストリーマーケーブルを用いる。データ収録装置は、受振器でとらえられた弾性波動に対応した電気信号を探査装置でデジタル値に変換し、記録される。陸上探査では、各受振器と収録装置をケーブルでつなぐデジタルテレメトリ方式が一般的であるが、最近ではケーブルで接続していない独立型の収録装置も使われるようになってきた。

図3は、岩手県花巻市西方の北上低地帯西縁断層帯横森山断層を横切る反射法地震探査による深度断面である。Unit Iの地層が西側で東に急傾斜し、中央部で水平になり、東部で再び東に傾斜するようすを読み取ることができる。東の傾斜帯の上位にはUnit IIの地層が重なっている。これらの地層は断層により切断された構造は認められず、断層はこれらの地層の下にあると推定できる。このように反射法地震探査により、掘割することので

きない地下の地層の様子を描き出すことができ、防災上重要な断層の位置、形状、変位量などの様々な情報を得られる強力なツールになっている。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

屋根に夢と技術をのせて

屋根と一体化した雨とい 軒先がシャープで美しい仕上がり

雨だけを取り込む設計(特許出願中)

元旦内樋

元旦ビュティ工業株式会社

お問合せは 0120-09-49-39

元旦内樋

屋根のことは元旦に

自然と安全を大切にします

(一社)日本公園施設業協会会員

設計・製作・施工・保守管理

鉄製・木製・擬木 遊戯施設

園路広場・修景・運動・休養・便益・管理施設

体育館・トレーニング・屋外器具

黒板・掲示板・看板

有限会社 サンブリッチ東北

本社・工場 / 岩手県北上市藤沢7地割195番地1 TEL0197(68)3860 FAX0197(68)3865

グラウンド用表層土

チャンピオンサンド

特徴

○安価……材料費が他人工骨材使用品より安い

○簡易施工……単一材料での粒度調整で、均一な舗装面の施工が簡単

○柔軟性……抜群のプレイ感で、透水性・柔軟性に優れます

○管理が手軽……維持管理が他混合コートより安く、簡単に

用途

○Aタイプ……・テニスコート

○Bタイプ……・野球場

○AB混合土……・陸上競技場・サッカー場・校庭・園庭

盛岡スポーツ施設株式会社

盛岡市月が丘3丁目39-5

電話 (019) 641-1018(代)

FAX (019) 641-6661